

反省

①→一度1万円超えを見せられてまた1万円以下まで落ちてきて、ほいほい買ってしまった。大口の思うつぼ投資法あれだけチャンスでなければ見送ると言っていたのに、正直値ごろ感トレードを初手でかました。

1万円を超えたら手出しできなくなるから、1万円以下がチャンスと勘違いしている。

こういうトレードほんとと良くない。上値を飛びついてはいなくて、我慢はしているが...

根拠が値ごろ感のみでFOMOがセットになったエントリーは、絶対にチャンスでは無いという過去の反省が生かせなかった。

これが利確になっても運だった。次は同じ場面で、自分を律したい。少しずつ

②→しっかり引き付けてエントリーしたが、下ひげで損切となった。3回目に関しては損切した値段がほぼ底。

でもこれは仕方のないこと。エントリーはこれで良かった。損切少し遅れたのがダメ

③→サポート確認して利確ラインまで握れた。OK

④収支がプラ転しても、チャンスを待つことが出来たOK

⑤→少しでも怪しかったら、すぐ利確してしまった。

この段階で、値幅を取るメンタルが残されていなかった。エントリーはOK

やはり、髭が長いと損切が続くから値幅を取りに行くメンタルを確保できない

⑥→ひたすら引きつけることが出来た。3回目は、損切した1円下がいったんの最安値

損切ラインに到達したから損切になっただけ。この取引ではそうだったが、どんどん下げる場面もあるから

これが最善の行動だった。

⑦→KOSPIの影響で後場の寄り付が大幅GDになればかなりチャンスだと思っていた。

指値8951円をセット。刺さったとしたら、含み損になることすらなく一瞬で上に跳ぶと思っていた。

正直刺さらないと思っていた。

しかし、一瞬貫通された。上に跳んだら損切しようとしていたら利確ラインまでワープ。

引き付けた良い位置でのエントリーは、損切しようとした瞬間に利確ラインまで飛ぶ

引き付けられなかった悪い位置でのエントリーは、損切した瞬間に上に飛ぶ。

このムーブができたのは、前場から後場に跨がなかったから。損失幅を自分で制御できないポジションを取らなかったから
跨いで成功したら爆益だが、爆益はいらない。期待値があるポイントを常にエントリーできる状態であることが重要

⑧これが損切になったら、横横になってトレンド転換のだましに狩られ続けて損切祭りになるなというポイントが、
無事に損切となった。損切になったら取引終了しようと決めていて終了となった。

TSMCの月次発表で上にぶち上げていったが、やらないと決めていたので静観。

村田くんが200円くらいぶち上げた足は入る場所がなかった。

それから入る場所は2回くらいあったが指値が刺さっていなかった。また、押しだと思ったところが、下落トレンドの入り口で
損切ばかりになるやつだった。取引中止にしてなかったら絶対損切の方が多くなっていた。